

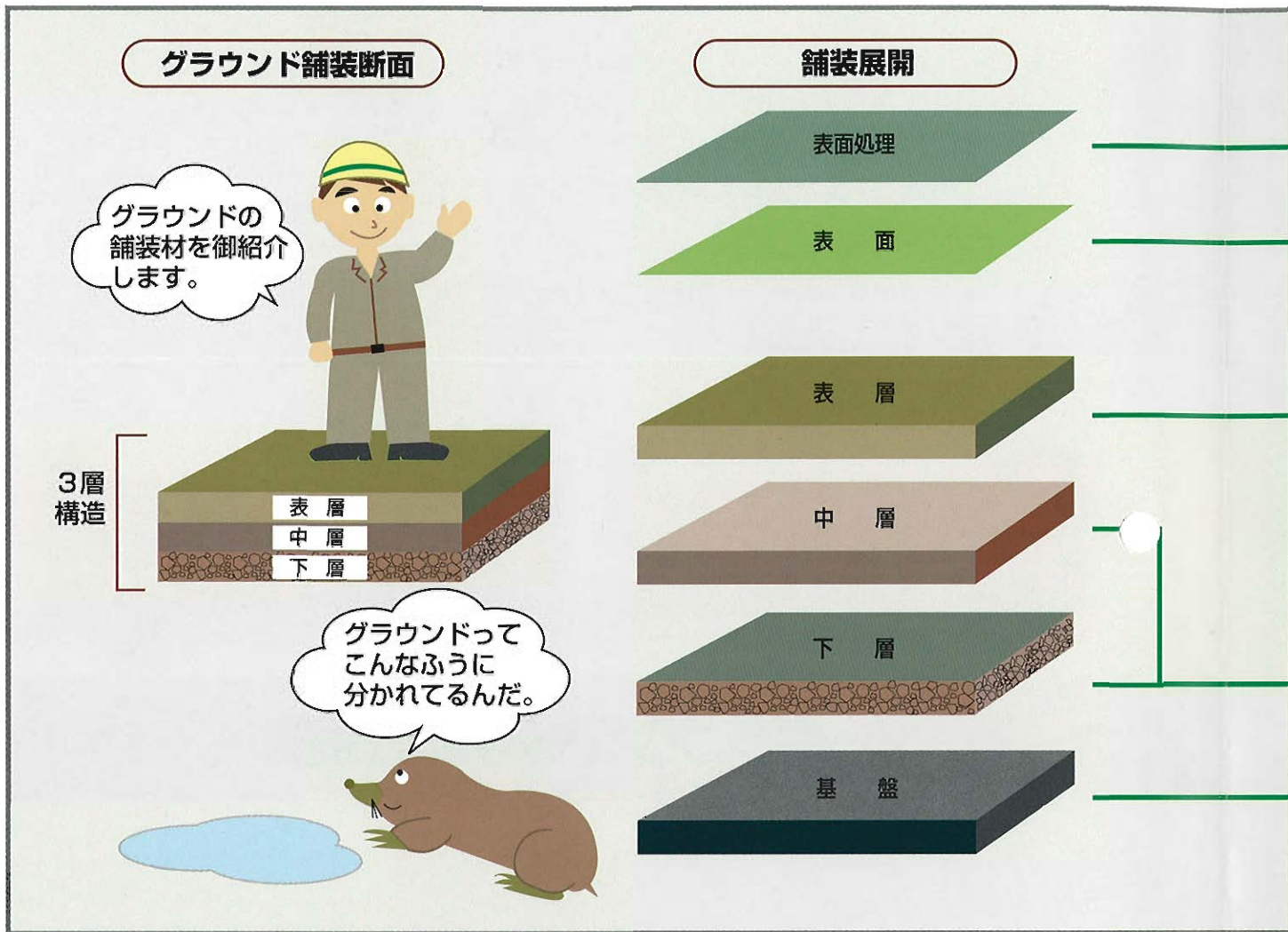
Ground Concept

グラウンド舗装の構想



ニッ ショウ
日勝 スポーツ工業株式会社

グラウンド舗装構造フローチャート



《はじめに》

グラウンドの舗装材は用途に合わせ、表層・中層・下層と3種類の構造に分けられ、各層毎に独自の特徴をもっており材料の組合わせによりそれぞれの競技に適合した素材を選択する事が大切です。

スポーツマテリアルは、お客様のニーズに合った舗装材を提案させていただきます。まずは環境問題に着目し、自然環境破壊の軽減、大気汚染による防塵対策を考慮しリサイクルシステムの促進を行います。

また、施工法・経済性においては工事期間の短縮・コストダウンを目指しています。グラウンドの品質面で耐久性・安全性を考慮し、準全天候型のグラウンドを提供させていただきます。

タイプ別舗装材

防塵凍結防止タイプ

●キープウェット

緑化タイプ

●ランドターフ

クレイタイプ

●ソイルサンディ ●ゴールドクレイ ●ポーラサンド

ナチュラルタイプ

●スクールサンド ●グリーンシート ●グリーンライト
●グリーンダスト ●ワインダスト

プレミックスタイプ

●ランドミック ●ランドソイル

リサイクルタイプ

●リバースクレイ ●スーパーウェーブ

リサイクルタイプ

●リバースクレイ ●スーパーウェーブ

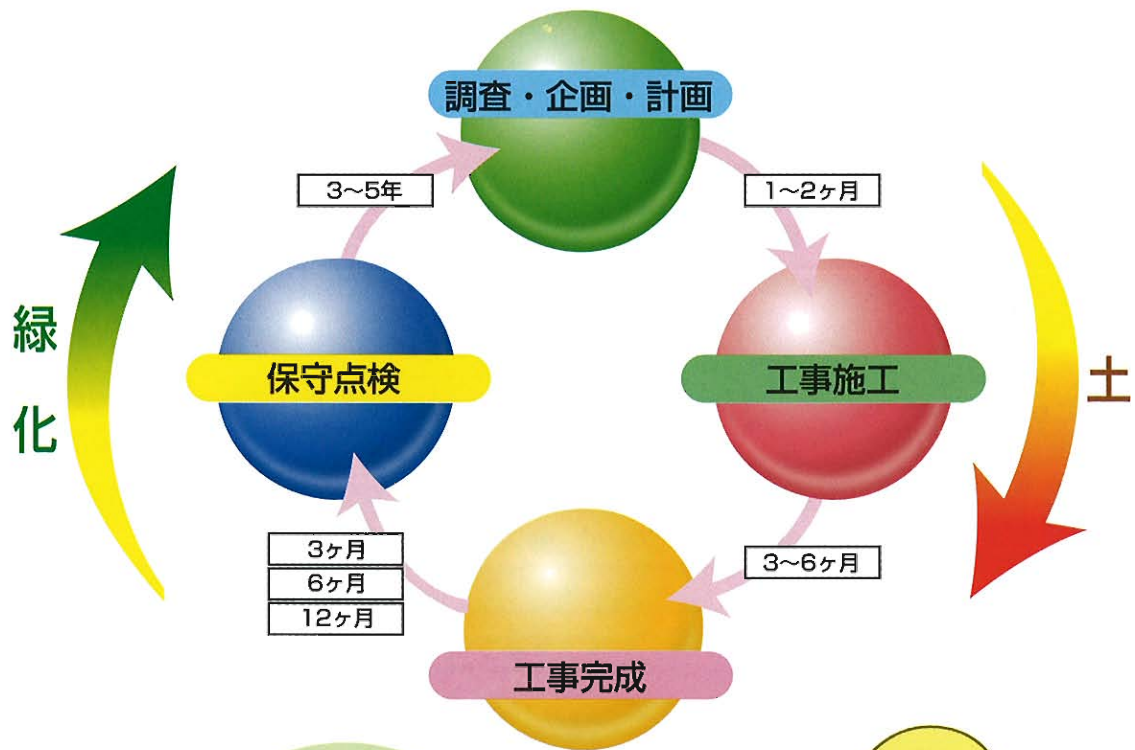
フィルタータイプ

●ランドフィルター

《グラウンドの考え方》

- **基盤** グラウンド上の支持基盤となるもので、従来型では、強度のみが追及されました。当社では基盤とは、透水、保水、支持力の三身一体でなければならないという考え方から、リサイクル材を使用したランドフィルター工法を取り扱っております。
- 下層** 基盤の上であって、中層・表層のグラウンド舗装材の支持力強化と雨水の浸透効果を高め、また、保水できる素材でなければなりません。一般的にクラッシャーラン・火山砂利といった粗骨材を山から採取する方法をとっていました。当社は、リサイクルシステムの促進を図り、現状土を再利用した舗装材を取扱っています。
- 中層** 支持力を得た下層のうえにあって表層のクッション性・透水性を高める役目をします。
- 表層** タイプを大別すると、クレイ系・ナチュラル系・プレミック系・リサイクル系の4種類に分けられます。その理由は、競技種目に応じてまったく異なった運動となるためであり、例えば陸上では走、跳といった縦運動に対して、野球は走、滑といった横運動になります。つまり運動目的によって舗装材を選択する必要があります。また、グラウンドは自然環境に左右されやすく、雨・風に対しての透水性・耐久性・安全性を考慮した舗装材を当社は取扱っています。
- 表面** 天然芝にすることによって緑化システムの向上と自然環境破壊の軽減（CO₂の削減）に役立ちます。
- 表面処理** 化粧砂と苦汁を散布することで化粧砂は美観性を高め適度な足のすべりを与え、苦汁は表面の埃を押さえる役目をするものです。しかし従来の苦汁（塩化カルシウム）は安定性はあるが持続性・防塵性に欠けていました。当社は、防塵、凍結防止を念頭にした素材を取扱っています。

保守・点検サービス



当社は、工事完了後も保守点検の充実を図り、3・6・12ヶ月と点検を行い、長期間の中で「土から緑」をテーマにして、CO削減をモットーに自然環境にやさしいグラウンドを提供させていただきます。



●取扱店



生涯スポーツの創造
本社 〒156-0044 東京都世田谷区赤堤5-43-1
TEL: 03-3323-5611 (代表)
FAX: 03-3324-2850
支店 西東京・城北・千葉・新潟・町田
世田谷・大田・板橋・多摩・城東・足立

●お問合せ